

これはいろいろ研究をしていかなければいけない。4割に満たない自主財源の自治体が、どこまでやれば自立したと言えるのか、これは例えば半分まで人件費を減らしても自立したと言えるかどうか分からないですよ、実際問題として。それを、やっぱりいろいろな角度から検討していくべき時代に差しかかったなということで今回の問題を取り上げましたので、最後に市長の答弁をいただいて質問を終わりたいと思います。

鈴木良雄議長 目黒栄樹市長。

目黒栄樹市長 おっしゃる意味は私もよく理解しているつもりです。自立というのは、一つは地方自治体としていけば財政的に持続可能な、10年なら10年を見通せるということ。もう一つは、市民の皆さんのことといえば、市民の皆さん自身も自立をしていただいて、自分でできることは自分でしていただくと、なるべくしていただくと。そして、行政にも参画をしていただくと、自分たちのまちは自分たちでつくっていくと、そういう気概を持って、ともに、協働ですか、一緒に働くことだというふうに思っておりますので、そういったイメージで、そういった目標を持って頑張っていきたいというふうに思っております。

小関勝助議員の質問

鈴木良雄議長 次に、順位9番、議席番号12番、小関勝助議員。

(12番小関勝助議員登壇)

12番 小関勝助議員 この3月定例会に当たりまして、市政一般について質問を行います。

それでは、順次、通告によりまして大きい2点につきまして質問いたします。

最初をお願いしたいんですが、明快そしてで

きれば簡潔な、そして長井市が明るく元気になるような答弁をよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、質問に入ります。

質問の第1点は、毎年、国や県に要望しております本市の開発重要事業要望書への取り組みについてお伺ひ申し上げます。

この項での第1点は、長井ダムの早期完成と周辺環境整備についてお伺ひします。

現在、長井ダムは、本体のコンクリートの打設も順調に進んでおります。予定の120万立方で、ことしは100万立方、これが10月で達成されると聞いております。そのように平成22年完成を目指して附帯工事、諸工事が着々と進捗しておるのはご案内のとおりです。また、長井ダムは、多目的ダムとして治水はもちろんですが、利水にも絶大な効果が期待されております。

また、ダムの周辺環境整備については、緑のダムとして環境に優しい整備計画が、市民の皆さんによる長井ダム周辺環境整備連絡協議会、そして市の職員によります庁内検討委員会、また当議会でも長井ダム環境整備促進特別委員会が設置されております。まさに、市民一丸となった周辺整備の実現に向けて、今、取り組まれていることはご案内のとおりです。

現在、ダムの完成を間近に控え、ここ数年間が周辺整備を実現する時期となっており、まさに正念場でもあります。目黒市長は、各地域でのあいさつの中で、今回、東北ダム連の会長に就任されました。特に、そういう中で長井ダムの周辺整備には力を入れますよと言われております。私も非常にいい時期に会長になられたなと大いに期待するものです。

さて、そういう中で5点について、提言も含めて順次質問してまいります。

第1点は、これも昨日の一般質問でも触れられておりますが、道照寺平スキー場の整備と展望台の計画についてお伺ひします。

市長は、平成17年度の施政方針の中で、長井ダム周辺整備計画では単なるスキー場や箱物の整備ではなく、山頂には花畑やゆっくりできるあずま屋がある眺望広場を設けて、おもしろくて楽しいスキー場の通年利用できるようにしていきたいと記述されております。私も賛同するものであります。また、新年度予算には、道照寺平コミュニティーセンター工事費として4,000万円計上されております。

着実に整備が進んでいるわけですが、この整備については、平成11年3月に長井市が取りまとめられました道照寺平スキー場整備拡充基本構想の計画があります。この計画については、市民各層からなる道照寺平スキー場整備検討委員会13名の方で構成されております。また、この中には長井ダム工事事務所からもオブザーバーとして入られております。非常にグレードの高い基本構想であります。それによりますと、A案とB案があります。A案については10億6,000万、B案については13億3,000万、このような大きな計画であります。市長もご案内だと思います。

ただ、今後このスキー場を整備するときは、このような計画が今の長井市の厳しい財政の中でできるのかどうか、ちょっと疑問でもあります。やはり、見直すところは見直して、整合性のある整備が必要かと思いますが、市長の考え方も含めてご所見をお伺いします。

また、あわせて、スキー場の山頂にすばらしい眺望に恵まれた地形があります。ぜひ、今回のスキー場の整備とあわせて展望台の整備も早急に進めるように、あわせて要望いたします。

次に、第2は、前野・桂谷山道の復元整備についてお伺いします。

このことについては、長井ダム周辺整備計画にもありますが、前野・桂谷には以前民家もあり、桂谷には学校もありました。通称サンヨー道路として前野・桂谷への生活道路としてあり

ましたが、今回の長井ダムの残土受入地、いわゆる濁沢なんです、これが分断されております。しかし、長井ダムの工事事務所のご好意によりまして途中まで復元される見込みになっております。周辺整備計画によりますと、自然散策道として整備を目指すとありますが、ぜひ山道としての整備についても市長のご所見をお伺いするものであります。この道については、市長も一緒に歩かれた経験もありますので、中身もご存じかと思えます。

第3は、原石山・残土受入地に夢のある整備をについてお伺いします。

市長が施政方針でも述べられておりますが、箱物整備については、ほかのダムでもその後の維持管理に苦労されております。やはり、身の丈に合った環境に優しい整備を望むものですが、このことについて現在具体的な整備計画がありましたらお示しをお願いしたいと、こう思います。

第4の山岳観光、いわゆる祝瓶山への山道整備について、質問というよりは要望をお願いいたします。

現在、年齢を問わず若い人から中高年の皆さんの登山率は着実にふえております。朝日連峰に連なる祝瓶山は標高1,417メートルのすばらしい眺望が開ける山として、また登山口から1日で楽に登れる山として、特に中高年の方の登山コースとして全国にマップで紹介されております。日曜、祭日になりますと、祝瓶山荘のある駐車場が狭くて車が置けないくらい込み合います。今後は、長井ダムも完成するわけですが、奥山観光として大いに期待されます。

しかし、現在、昨年7月17日の豪雨によりまして道路が寸断されております。車が通れない状況にあります。ぜひ、今シーズンの登山に間に合うよう早急な整備が必要であります。山岳会や登山愛好者からも要望が出ておりますので、やはり市だけではできないと思えますので、

関係機関との連携の上で、早急な整備を望むものです。このことについても市長のご所見をお願いします。

5番目、地域に開かれたダム事業の指定についてお伺いします。

このことは、平成16年度の開発重要事業要望書にも、地域に開かれたダムの指定を受け、水のまち長井の実現を目指してまいりたいと考えておりますと記述されております。ぜひ、今回東ダム連の会長にもなられたわけですから、早急に指定を受け、ぜひ、周辺整備計画の追い風になるわけですから、各関係機関に強く要望していただきたいと思っております。

この項の質問は、これで終わります。

次に、国道287号長井南バイパスの工事の推進についてお伺いします。

ご案内のように、置賜地域を30分以内で結ぶ交通ネットワークを形成しながら、米沢から白鷹町を規格の高い道路としての工事であります。1日も早い全線開通が望まれております。特に、公立置賜総合病院へのアクセス、生涯学習プラザそして西置賜消防本部へのアクセスも重要と考えます。

市長は、施政方針の中で長井南バイパスルートに計画されている第2白川橋、仮称のようですが、早期架橋の期成運動を地元の皆さんと取り組むと述べられております。ぜひ、今後は国、県への働きかけをお願いしたいと思っております。

また、この路線については、旧ダイユーエイトのところまではルートが決定しているわけですが、その以北については現在白紙の状態になっています。しかしながら、現在、平野地区、西根地区、そして隣接する白鷹町さんとも連携をとりながら、西周り幹線道路期成促進協議会という名前で、地域住民の熱意により協議会を立ち上げました。地域の皆さんは、早期の長井南バイパス着工が、以北についても着工することを望んでおりますので、市長の考え方

も含め、実のある答弁をお願いいたします。

次に、通告の2点目、総合運動公園の整備についてお伺いします。

新年度予算に土地開発公社の経営健全化計画に基づき長井市用地特別会計予算として運動公園整備事業購入用地として3億130万円が計上されております。市民、特にスポーツ関係者が長年待ち望んだ運動公園用地を土地開発公社より買い入れたことにより、今後の整備計画にはずみがつくと考えております。しかし、本市の財政は依然厳しく、直ちに整備計画が進む状況にないわけですが、そういう観点から次の2点についてお伺いします。

第1点は、体育施設整備検討委員会から答申が出ております。今後この答申をこの整備計画にどう生かすかについてお伺いします。

答申は、平成9年12月に策定されております。長井市の体育施設全般について具体的に提言されております。特に、生涯学習プラザに隣接する長井市総合体育館は平成元年度に建設されております。現在まで17年ほどたっておりますけれども、その間、べにばな国体を初め多くの競技や市民の体育施設として利用されているのはご案内のとおりです。今回、買い戻される運動公園用地についても、体育施設整備の基本的な考え方として7項目について提言されておりますので、簡単に申し上げます。

第1点は、一つは長井・西置賜の中核都市としての体育施設の整備を図る。二つ目は、長井市の産業・経済・雇用の確保に期待できる整備を図る。三つ目は、子供から大人まで楽しく利用できる設備。四つ目は、長井市民のスポーツの向上を図るため、県大会・東北大会などの招致ができる施設。五つ目は、陸上競技や水泳競技の記録が公認される施設。六つ目は、冬期間のスポーツ振興の立場から多目的に利用できる屋内運動場の整備。最後、七つ目は、管理運営の効率化のために生涯学習プラザを中心に集中

した施設の整備を図るとの提言がされております。

今後の整備計画にぜひ生かすべきと考えますが、市長のご所見を伺うものであります。

第2に、新年度の長井市開発重要事業要望書に、ぜひ今回の計画を要望書に載せていただきたいということからお願いするものであります。

やはり、今後整備する上では国や県の支援なくては到底できないと考えます。西置賜はもちろん、置賜の中核都市としての整備が必要と考えます。置賜には現在、県営のスポーツ施設がないわけで、やはり山形県の均衡あるスポーツの振興、発展を目指す上で強く要望するものであります。

また、現在、長井南中学校、北中学校とも、ここ数年、県下はもちろんですけれども、全国大会にも出場するようなすばらしい活躍をしておられます。この上からも、なお一層の飛躍を願う上でも、ぜひ新年度の長井市開発重要事業要望書に入れるべきと考えます。参考までに、この総合スポーツ公園の整備につきましては、平成10年から平成12年、3カ年要望書に入っております。市長のご所見を伺い、以上で壇上からの質問を終わります。

ご清聴ありがとうございました。(拍手)

鈴木良雄議長 目黒栄樹市長。

目黒栄樹市長 小関議員のご質問にお答えをしながら、若干私の考えも述べさせていただきたいと思っております。

まず、長井ダムの件で道照寺平スキー場の整備と展望台についてであります。道照寺平スキー場は周辺整備計画にも載せてありますとおり通年利用を目指しております。基本的には、ご質問のとおり平成10年度に策定した整備拡充基本構想計画に準じて整備をしてみたいと思っておりますが、このうち平成17年度にコミュニティー施設を建設する予定になっておりましたので、これを建設していきたいと思ってお

ります。

その後は、地元や市民の皆さんの協力を得ながら、スキー場内にも花畑をつくるとか、また、野川まなび館や野川河川敷などを遊歩道で結ぶとか、そういったいろいろな計画もあるわけです。ありますから、通年利用ができるようにいろいろと皆さんのご意見を聞きながら知恵を絞っていきたいというふうに思っております。

もう一つは、熊野神社周辺の開発です。ここは、なだらかな尾根を使った遊歩道があると。これをある程度整備して、一番上というか展望施設をつくれなかと。当初、ダムサイトのわきの山を計画しておりましたが、ちょっと何か急峻な地形のために整備が難しいとか、直下のダムが見えないとかというようなことがあって、この熊野神社周辺の屋根に設置ができるかどうか、これを検討してまいりたいというふうに思っております。そこにできれば、私の市長室にかけておりますように、花畑であるとか、あずま屋であるとか、熊野神社について少しストーリーを立てて、別れの1本杉が初恋1本杉になるとか、ならないかもしれませんが、いろいろな夢のある話を検討してまいりたいというふうに思っているところであります。

2番目に、前野・桂谷山道の復元整備、ここは一緒に、藪蚊でかなり大変でしたけれども、かつて使われておった道を歩かせていただいたところであります。前野と桂谷地区のあたりは、地元の共有地組合の皆さんや森林組合の皆さんがある程度手入れをされておられました。比較的良好に残っているというふうに思いました。

周辺整備計画では、濁沢の残土受入地を利用して前野と桂谷へアクセスしやすくすると、そして自然観察のための遊歩道、ネイチャートレイルというんですか、を活用したいという計画であります。周辺環境整備計画では、ダムの建設工事により、どうしても下の濁沢まで車で行けるようになります。が、その先のサンヨ一

につきましては林道事業などを当てていきたいという計画でありまして、具体的な事業の検討はこれからであります。林道と遊歩道を兼用させる道がつかれないかというところで検討を進めていきたいと思っております。

3番目の原石山・残土受入地に夢のある整備をと。濁沢の残土受入地及び原石山跡地利用につきましては、21世紀不伐の森と位置づけて、市民による植樹をしたらどうかというご提案がございます。植栽する木あるいは将来にわたり市民の方が育てて水源地としてふさわしいような環境つくり上げることができるかどうか。既に平野地区ではブナの苗木の育苗が始まっております、そういった意味でさらに検討を前に進めてまいりたいと思います。

また、濁沢の残土受入地につきましては、奥山である朝日連峰が一望できる場所にありますので、特に祝瓶山を見る眺望は素晴らしい場所でもありますので、展望施設程度は設けてみたいなど、観光スポットになるような、そういったのを今夢として持っているところであります。

4番目が山岳観光についてです。祝瓶山への山道整備ですが、昨年の7月17日の豪雨により道路が寸断され車が通れない状況にあるというのはご指摘のとおりであります。そこで、県道につきましては、置賜総合支庁と相談をさせていただいております。災害復旧の工事を総合支庁で発注していただけるということのようであります。現在は積雪のため中断しておりますが、5月ごろからできるだけ早く完成を目指して工事を予定していきたいと。今後の天候により状況が変わる可能性もありますが、なるべく早く要望が実現できるようにしていきたいと思いません。

林道につきましては、やっぱり営林署の力をかりなければいけないと思っております。営林署が現地を見たところによると、今、県道が通れませんが林道の路線を踏査できる状況には

ないということでありまして、17年度予算は調査費を計上して、雪解け後に本格的な調査を行って引き続き復旧工事に着手していきたいという予定ということでありまして。

昨年、ダム事務所でも祝瓶山荘まで道路の調査を行った際に、沢ごとに道路が被害を受けている状況を確認されました。道路を人力で復旧しながら進まなければならないという意味で非常に、4輪駆動のジープでさえも底がすれて前に進めないということなものですから、通常の車両が通行できるようになるには相当時間がかかるのかなというふうに思っております、林道につきましては。

5番目の地域に開かれたダム事業についてでございます。

ダムの周辺整備につきましては、当初、地域に開かれたダム事業の認定を受けて進める予定をしておったところでありますが、国土交通省と協議をしました結果、長井ダムの場合は市民の皆さんの要望を取り入れた計画がもう既にでき上がっているということや、完成後の整備を地域と一体になって進めていくということを考慮して、ダム水源地地域ビジョンに切りかえて進めたいというご提案をいただきました。この事業は、ダムの完成後もダムを生かした水源地域の自立的、持続的な活性化を目指すものでありまして、自治体及びダム管理者、住民の皆さんと協働で策定していく行動計画であります。既に白川ダムの事業で飯豊町さんがこの事業で取り組んでおりますので、長井ダムもこれらを参考にしながら取り組んでいきたいというふうに思っているところであります。

次に、総合運動公園の早急の整備についてであります。

(「国道287号線」の声あり)

目黒栄樹市長 287、済みません。287号の整備の状況は、287号南バイパス事業は平成9年度から着手して、平成14年に川西工区の1.2キ

口が完成しました。12月22日だったと思います。長井工区につきましては、1期工事の今泉・河井間として平成14年度から着手をして、平成19年度までに完成をしたいという予定で進めております。河井・泉間は第2期工事として、第2白川橋の仮称を含めて、この1.2キロメートルであります。これは1期工事の早期完成と2期工事への着手がスムーズにいきますように、地元の方皆さんも盛り上げていただいて、そして期成運動でともに取り組んでいきたいというふうに思っているところであります。

この長井南バイパスは、平成15年度に計画決定されました広域道路米沢・長井道路、規格の高い道路であります。と接続して市町村の連携強化による交流の促進、地域の活性化、置賜生活圏30分構想の実現に向けて最重要の幹線道路と位置づけておりますので、早期完成に向けて、これは置総等でも要望活動を強く展開していかなければならないというふうに思っております。

その先について、ここは順序から言うと、あそこの森バイパスの方を着手すると、着手したというところを見ていかなければいけないというちょっと微妙なところがありますし、平県会議員ともお話をさせていただいておりますが、ぜひ、県会議員等のご意見も聞きながら、この先のルートにつきましては、私はやっぱりあそこでとまるなんていうのはとんでもない話で、公立置賜病院と置賜生涯学習プラザあるいは西置賜消防署、あるいは西根地区を結ぶ重要な幹線道路ですので、この先は西周りバイパスについても長井市の開発重要事業として要望していかなければいけないというふうに思っているところであります。

それから、体育施設についてであります。検討委員会から答申された内容について議員からご指摘がありました。あの当時は、長井工業高校の改築問題がありましたから、市営野球場

や市営グラウンドを山形県に買ってもらうと。そして、その金も当てにしてプラザ周辺に野球場、プール、武道館等、立派なものをつくろうと、こういう話だったと思います。そういう理想的なあれをつくるとなれば、大体15万平米が必要でありまして、今6万平米を今回買い上げるわけです。新たに、また9万平米を確保する必要があります。これはやっぱり今の状況から考えて、新たに9万平米を確保するのは現実的かどうか、これは検討を加えなければいけないというふうに思います。

せっかく土地開発公社がこのとおりようやくかなり整備できたわけでありまして、今後の整備につきましては、公共用地取得事業では最長10年ということになっておりますから、この10年間で最大のスパンとして、まず水路のつけかえ等をなるべく早くしたいというふうに思いますし、これまでの計画を、一つのベースだと思えますけれども、どういう計画にするかということを検討委員会をもう一度やらなければいけないのかなというふうに思っております。

新年度の長井市開発重要事業要望書にその計画をと、もちろんご指摘のように国や県のお力をかりなければいけません。ある程度具体的になって、ここは何省、ここは県の何々部というふうにならないと、重要事業の要望というのはなかなか効果が上がらないというところもありますから、具体的な整備計画をできた段階で重要事業要望に上げていくということの方が現実的ではないかというふうに思っているところであります。

以上です。

鈴木良雄議長 12番、小関勝助議員。

12番 小関勝助議員 大変詳しく、そして前向きなご答弁ありがとうございました。

それでは、二、三について再質問させていただきます。

最初に、長井ダムに関連について再質問させ

ていただきますが、道照寺平スキー場の整備と展望台、これについても当然施政方針でも述べておられますので、非常に1歩、2歩も前進したのかなと、こう思います。

スキー場に今回コミュニティー施設出るわけですが、4,000万の予算ですか。やはり、いろいろ木のぬくもりのある、設計もイメージ図があるわけですが、木のぬくもりのある、やはり自然にマッチした施設ができないのかなと、そんな要望もありますので、ぜひ、これから計画するときにおいては、例えば間伐材を利用するとか、これについても長井ダム、これから湖面の伐採が始まるそうです。ですから、かなりの間伐材が出る予定になっていますので、その辺は公共施設ですから優先的にいただけたらと思いますので、その辺なども今後の整備の中で工夫していただきたいなと、こう思います。

あと、展望台なんですけど、これも市長、今、答弁のとおりです。ここには熊野神社ですか、あります。このずっと登る登山道もありまして、ここは毎年地元の皆さんが整備されております。また、平野小学校のPTAが主催になりまして、親子で暁登山として、まだ日が上る前に、夜明けに登山するというような、そういう道路にもなっていますので、市民の皆さんが当然登られる、そういうコースになっています。市長、今、答弁のとおりですので、ひとつ、そういうことで、できれば一緒に整備をお願いしていただければなと思いますので、これは答弁要りません。

あと、2番目の前野・桂谷山道の復元について、これについても、市長は一緒に歩かれたわけですから、わかるわけですが、今後は林道事業として整備をしていただけたらということをお願いしたので、ぜひ、いろいろな観点から、そのようなことで整備をしていただければと、こう思います。

あと、3番目の原石山そして濁沢の残土受入

地について、市長のここについての整備構想を聞いたわけですが、ここも非常に眺望のいいところですが、ただ、奥山ですので、やはり当然水を汚したりする施設はできませんので、その辺は市民による植栽計画などがあると、あと、あずま屋などもあるというふうな計画ですので、そういうイメージの中で進んでいただければと、こう思います。

あと、4番目の山岳観光の山道整備について、ここでちょっと市長に再度お願いしたいんですが、やはり当然木地山ダムではつけかえ県道ですか、そのほかは国有林がありますので林道、そのほかは民有林ですので山道になっております。こういう中で、かなり全線にわたって壊れております。

さっき、ダムでも調査に行かれたというような話ありましたが、三菱のパジェロですか、あれ1台だめにしたそうです、壊れたそうです。そのぐらい道路が壊れているということもありますので、ぜひ、ここは置賜の総合支庁でも前向きに取り組むというような話ありましたが、ぜひ、置賜総合支庁はもちろんですけれども、営林署なり関係機関と連携をとって、ぜひ早く、早急に、できれば登山シーズンまで間に合うようお願いしたいと思います。

あと、この山道整備と関連してなんですけど、実はちょっと今大変な問題と申しますが、今回、合地沢に橋がかかりました。あの先なんです。実は道路で行く予定だったんですが、地形上急峻だということでトンネルになりました。ただ、トンネルも曲がりのあるトンネルで340メートルですか、そういうトンネルです。ただ、地元からも非常に強く要望しているんですが、つけかえ県道も5メートル、橋も5メートルということで、トンネルが5メートルということですが、今、計画が進んでいるそうです。5メートルになりますと、車が対面交通できません。そ

ういうトンネルだそうです。これは、非常に交通安全上危険です。やはり、そういう、いろいろなところから聞きますと、5メートルでも6メートルでもできる準備はしていますよと。そして、このトンネルについては18年度着工したいと。ただ、あと二、三カ月しか余裕はないということです。ひとつ、市長からもぜひ、このトンネルについては、やはり今から交通安全が心配なようなトンネルでは非常に危険なわけですから、6メートルになるようなことで働きかけをお願いできればと思いますので、その辺の市長の考え方をお聞かせ願えばと思います。

鈴木良雄議長 目黒栄樹市長。

目黒栄樹市長 小関議員がご指摘のように5メートルを6メートルにということで地元の皆さんもご要望なさっていると、ダム事務所も十分理解していると思います。ただ、これは県が6メートルになってもう1億円出してくれるかどうかということが一番のネックでありますので、なお平県会議員や、あるいは遠藤武彦先生や、いろいろな皆さんのご協力を得ながら6メートルにするような要望をしていきたいというふうに思います。

鈴木良雄議長 12番、小関勝助議員。

12番 小関勝助議員 ぜひ、そのような方向でお願いしたいと思います。

次に、5番目の地域に開かれたダムで、先ほど答弁いただいたんですが、ちょっと趣を変えてダム水源地域ビジョンに切りかえるというような答弁をいただきました。お隣の白川ダムさんではこれは取り組んでいるというような答弁をいただいたわけですが、白川ダムも完成してからかなりたっているわけです。私この辺についてちょっと具体的にわかりませんので、もし、市長とかどなたか、そういう具体的な、今、白川ダムでどういう取り組みをされているのか、そして長井ダムでこれに取り組むとしたらどういうことができるのか、その辺お聞かせ

願えばと思います。

鈴木良雄議長 目黒栄樹市長。

目黒栄樹市長 周辺環境整備で市民の皆さんからご要望が出たものをまとめました。でも、これは、これを全部実現するとなると相当の資金があり相当の年月がかかるのではないかということですので、まず今、最盛期になっているダムを完成させて、それからスキー場の整備であるとか、こちらの方ができるように、優先順位があるわけで、あれもこれも全部というわけにいきませんから、そういった長期的なスパンで整備をしていくというようになるとすれば、これは白川ダムもそうですが、東北各地も完成後にそういう水源地ビジョンというふうにして、少し長期的な視野から整備をしていくというようにことだと理解をしております。

なるべく周辺環境整備の皆さんの要望を実現したいということですが、少し時間をかけてというようになるのかと思います。

鈴木良雄議長 12番、小関勝助議員。

12番 小関勝助議員 先ほど申し上げましたように、市長は東ダム連の会長さんですから、ぜひその辺、この事業が指定を受けられるようにお願いをしたい、特段のご支援をお願いしたいと思います。

それでは、この項最後の国道287号、ダイユートから先の話ですが、そこまでは平成19年度までですか、その予定で進めるというような話がございました。私も森バイパスとの関連は聞いております。ただ、森バイパスも順調に、市長もご案内のように進んでいます。ルートもほぼ決まり、予算も少しずつついてきているということですので、タイミングがあると思うんです。やはり、すぐぱっとやりますよといっても、地域の皆さんの協力も要るわけですから、今、そういう地域の皆さんで、西根さん、そして平野、白鷹さんとも連携とりながら、民間サイドで今、熱心に議論されている最中です。や

はり、かなり朝晩、国道が今込むようになりまして。特に病院周辺なんてすごいです、渋滞が。ですから、早く全線開通を望むわけですけれども、先ほどプラザと消防署も視野に入れたというようなこともありますので、ちょっと今の時点でどういう市長答弁できるのか、ちょっとその辺は微妙なんですけど、もし、市長の考えがございましたら、今、全くここについては白紙の状態ですので、お聞かせ願えればと、市長の考えで結構ですから。

鈴木良雄議長 目黒栄樹市長。

目黒栄樹市長 やっぱり、森バイパスのどこまで進捗したらゴーが出るかということは、県の動向を見ながら、県会議員の判断を仰ぎたいと思っています。そこでゴーサインが出たら、少なくとも、とにかく生涯プラザと消防署までは行けるようにしたいと。そこから先の道路は、まだこれから、未定ですよ、正直言って。西根にどうつないでいくかと。さらに、その先、今度は白鷹の方も少しあっちの方につないでくれというような要望等もあるようですから、そういったところもお聞きをしながらやっていかなければいけないと思います。とりあえず、まず消防署までは、きちっと行けるようにしたいというのが長井市の立場であります。

鈴木良雄議長 12番、小関勝助議員。

12番 小関勝助議員 どうもありがとうございます。

ぜひ、今後、地域の皆さんと、いろいろ今頑張っておりますので、市としても全力で実現するようなことでお力をいただきたいと、こう思います。

それでは、次の総合運動公園について2点ほど申し上げました。やはり市長おっしゃるとおりだと思います。かなり立派な検討委員会の答申が出ていますが、これもやはり見直しが必要なのかなと。プラザの整備について、私も一般質問、予算総括の方で再三申し上げてきました。

ただ、その間、長井工業高校の改築が急浮上しまして、やはり余りそれを言ってしまうと長井工業高校の改築がおくれるというような事情もありまして、先ほど市長も触れられたわけですけれども、そういう事情がありました。それで、なかなかあの用地も開発公社から買い戻していただかなかったというような事情もありました。あと、過去には県の要望事業にも入っていましたが、逆に県の方からすぐ整備できないものは上げるべきでないというようなことで、そこは削除したということも私は承知しています。

やはり、これから、長井工業高校もあのよう立派に改築が進んでいるわけで、昨日の一般質問の中では、まずできることからやりたいというような答弁でありました。特に、あの中に水路2本が入っています。それを早急に移設したいというような話もありました。ぜひ、早急に移設をしていただきたいと、こう思います。ただ、検討委員会の見直しというようなことも触れられていますので、どのようなことで今後見直しを出されるのか、その辺もし市長の考えがありましたらお願いしたいということと、もう1点なんですけど、実は、あの周辺整備、今、土地改良に取り組むということで進んでいます。ですから、今でないとはですか、約6万平米あるわけですけれども、もう少し広くということになりますと、土地改良と今度パツティングしますので、これもなかなか難しくなります。ただ、土地改良は来年か再来年ということで聞いていますので、その辺までできれば整備計画を進めていただきたいと。あと、水路についても、土地改良といろいろ、今度は関連しますので、そこは連携をとられて、やはりお互いによくなるようなことで整備を進めていただきたいと、思いますので、その辺についてもひとつお願いします。

鈴木良雄議長 目黒栄樹市長。

目黒栄樹市長 新たに9万平米を買うというのは、私は現実的ではないと申し上げましたが、ここはやっぱり身の丈に合ったと、現在ある6万平米でどういうことをした方がいいのかということを考えるべきだと。そういった意味で、検討委員会の人選等ももう一度、今の時代に合った皆さんでお願いできればなというふうに思っているところです。

鈴木良雄議長 12番、小関勝助議員。

12番 小関勝助議員 最後に、ぜひ市長の任期中说ったら失礼なんです、早目に、市長が考えているような、屋外スポーツ施設だと言っておられますので、何とかめどをつけていただきたいなと、こんなお願いもしたいわけです。

当然、水路を早く移転していただけるわけですから、その後の整備も、やはりあの広い土地もったいないわけですから、あれを整備しなければ当面サッカーとか野球とかいろいろな設備できるわけですから、その辺の考えおありでしたら教えていただきながら、これで質問を終わりたいと思います。

鈴木良雄議長 目黒栄樹市長。

目黒栄樹市長 任期いっぱい全力で取り組ませていただきたいと思います。私自身は、何ていうんですか、テント型のドームみたいなものが欲しいなという、冬の間やっぱり運動できるような、土の体育館というのかなり大げさですから、今テントだって相当なものですよね。ビニールハウスでだって雪に負けないぐらいですから、そういったもので、あと施設なんていうのは全部生涯プラザにあるわけですから、これは6万平米で十分やれるのかなというような気がしますが、そこはやっぱり余り大ぶろしきを広げますと任期とかかわりがあるようでありますから、検討委員会の答申を待ちながら私の思いも伝えていきたいと思っております。

鈴木良雄議長 ここで、暫時休憩いたします。

再開は3時10分といたします。

午後2時51分 休憩

午後3時12分 再開

鈴木良雄議長 休憩前に復し、会議を再開いたします。

高橋孝夫議員の質問

鈴木良雄議長 市政一般に関する質問を続行いたします。

順位10番、議席番号11番、高橋孝夫議員。

(11番高橋孝夫議員登壇)

11番 高橋孝夫議員 大変お疲れさまでございます。きょうの質問は、私が最後です、おつき合いをいただきたいと思っております。

私は、市民生活の向上を願いながら一般質問を行います。通告をしている3点について順次質問申し上げますので、市長、助役、関係課長の明快な答弁をいただきますようお願いをしておきたいと思っております。

質問の第1は、施政方針についてです。

第1点目は、レインボープランの今後の展開策について伺います。

施政方針では、新しい価値をつくり出すまちの項では、「食の安全安心=レインボープラン特区」による農業の活性化に関して、レインボープランの輪を生産者と消費者が一緒になって長井市全体のブランドとして育てていくとされ、自然と調和した美しい環境のまちの項では、ISO14001を実践し、レインボープランの精神に学びながら環境負荷の少ない循環型社会の形成に取り組み、循環のまちづくりを進めてまいりますと触れられています。

このように、レインボープランについては随